



- 今月の主な内容
- 100周年ニュース、イベント..... 2～3ページ
- 市町村合併、佐世保駅前広場の整備..... 4～5ページ
- 市県民税と国民健康保険税の申告..... 6～7ページ
- 市民のひろば..... 8～9ページ

【特集】守っていますか？交通マナー..... 10～13ページ

広報サセボ 2月1日発行

## ズームアップ

今月の話題

地域の防災を目指し活動する  
「佐世保市少年消防クラブ」



「火の用心」の夜回り

佐世保市少年消防クラブは、「将来、火災予防を生活の中の習慣として実践できる社会人を育てる」ことを目指しています。昭和56年8月に市内で初めて「董ヶ丘」と「上宮崎」に少年消防クラブが誕生しました。現在は、子ども会や学童クラブなどの小学生で構成される19クラブ、約千五百人が、各地域で活発に防災活動を展開しています。

**防火夜回り**  
「皆瀬1組」のクラブ員は、昨年末に防火夜回りをしました（写真右）。みんなで調子を合わせた「火の用心」の掛け声と、その合間に打ち鳴らす拍子木の音が、冬の夜空にリズムよく響き渡りました。皆瀬小学校5年生の小原誠也君は、「風は冷たいけれど、厚着をしてきたから大丈夫」と、前年の経験を生かして防寒対策は万全です。また、「外灯のない所でも懐中電灯があるし、みんなと一緒にだから心配は要りません」と心強い一言。夜回りに同行している保護者に

とつても、頼もしい存在でした。このクラブでは、毎年、正月を過ぎると、町内で御用済みとなった正月飾りを持ち寄り、「どんど焼き」をします。地域の消防団と一緒に煙をあげながら、一年の家の内安全と無病息災を願っているそうです。

### 消防出初式のパレード

1月5日に、松浦公園からアルバカーキ橋間で開催された消防出初式のパレードには、「五葉」「西大和」「光の子」の少年消防クラブも参加しました。当日は大雪のため足元が悪く、



風の冷たい一日でしたが、クラブ員たちは、ねじり鉢巻き姿で元気な行進を見せたくれました。

### 消防一日体験学習会

市消防局では、消防の仕事や学び、防災への関心を高めてもらうと、毎年夏休み中に、クラブ員を対象とした「消防一日体験学習会」を開催しています。

昨年は、レスキュー隊の救助訓練を見学した後、実際に救命ロープを使った脱出訓練や放水訓練、救急法などの講習がありました。救命ロープ登りや、微妙な水圧の加減を手元で調節しながら放水を体験した子どもたちにとって、どの訓練も



夏休み中の貴重な思い出となりました。

子どものころ、少年消防クラブ員としての経験を持ち、現役で活躍している消防士もいます。この日のじん速的確なレスキュー隊の技術は、子どもたちに新しい夢を与えてくれたかもしれません。

少年消防クラブについてのお尋ねは、消防局予防課（☎29256）にどうぞ。



### テレホンガイド

救急・火災 医療機関案内 ☎23・8199

女性相談（アルカスSASEBO 2階・スヒカ）☎24・6180

水曜と祝日を除く毎日9～16時

教育相談（青少年教育センター）☎22・0077

毎月第2、4木曜の17時30分～20時30分には、夜間相談も受け付けます

エイズ相談（保健所健康づくり課）☎0120・104・783

健康テレホン（県保険医療協会）☎23・4300 3分間のテープで

祝日は前日の内容が流れます

月々気象と病気、火災・ストレッチの意義、今やりのストレッチング

水「小児の生活習慣病、木「声のかすれ、金「むずむず脚症候群、土

日「近ごろ増えているクラミジア感染症

観光テレホンサービス ☎23・3130

こちらら広報係

特集を担当した私も実は、駐車違反、スピード違反、免許停止の経験がある交通マナーが良いとは言えない大人の一人。今回の取材では、幼児交通安全教室の園児たちを見て、あらためて初心の大切さを教えられました。（K）



《市章》明治44年（一九一一年）10月制定。サセボの文字を組み合わせたものです。市名はサセボと読みます。

〒857の8585（市役所専用）  
長崎県佐世保市八幡町1の10  
佐世保市役所企画調整部秘書課広報係  
☎0956241111 FAX ☎2184



息の合った演奏に合わせ、旗を振りながら  
人権啓発パレードを先導した東大野幼稚園鼓笛隊

2月号  
2003 February (No.627)